

優和のミニかわら版

(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

「非課税株式投資比較」

2018年 今年からつみたてNISAが始まります。2014年から個人の資産形成を目的にNISAが始まりましたが、その後2016年にジュニアNISA、2017年から個人型確定拠出年金iDeCo（イデコ）の拡充が図られました。

公的年金だけでは、老後の生活が不安なので、個人で資産形成をしてもらいたいという国の指導です。

今の時代だと、株式投資を中心とせざるを得ないことは明白ですが、そのリスクは自分で取ってねということです。

【比較表】

比較の項目	NISA	つみたてNISA	ジュニアNISA	iDeCo
年齢	20歳以上	20歳以上	0～19歳	(※15歳) 20歳から60歳
年間投資限度額	120万円	40万円	80万円	14.4万円～81.6万円
運用可能期間と 非課税投資総額	5年間 総額600万 (120万×5)	20年間 総額800万 (40万×20)	5年間 総額400万 (80万×5)	※60歳まで 総額：年間掛金×年数
途中での引出し	できる	できる	※18歳まで途中払出制限	60歳まで原則不可能
非課税の対象	運用益に対して	運用益に対して	運用益に対して	運用益に対して 掛金が全額所得控除
投資できる商品	株・投資信託 (ETF)	一部の投資信託 (ETF)	株・投資信託 (ETF)	一部の投資信託・預金・ 保険
手数料	なし	なし	なし	あり
スイッチング	できない	できない	できない	できる
金融機関の変更	できる	できる	できない	できる
運用口座管理	本人	本人	親	本人
いつまでの制度	投資可能期間は 2023年12月末まで	投資可能期間は 2018年1月～2037年12 月末	投資可能期間は 2023年12月末まで	特になし

※iDeCoは公正年金加入という条件を満たしていれば15歳からも利用が可能

※iDeCoは60歳からのつみたてではできないが運用については10年の延長が可能

※ジュニアNISAは途中引出しは可能であるが過去の分配金・配当金の分まで課税される

NISAとつみたてNISAの併用できない

iDeCoはNISA、つみたてNISA、ジュニアNISAとは別の制度であり両立が可能

iDeCoは、その性格が個人年金積立であり、その人が加入している公的年金制度により年間積立金額が異なる